



九州大学がブドウの「マスカットベリーA」と「巨峰」を交配して、育成した「BKシードレス」は、夏季の高温下でも赤熟れせず着色良好で、食味の良い新品種として期待されており、本県でも導入が進んでいます。

そこで、「BKシードレス」と主力品種である「巨峰」の特性の違いを明らかにするとともに、果粒肥大を目的としたジベレリン（以下GA）処理回数の違いが果実の色や品質に与える影響について検討しました。

なく、品質が優れていました。また、GAの果房への浸漬処理は1回（満開後にGA1000ppm）の方が2回（満開後にGA2500ppm）より果皮色カラ

ブドウ「BKシードレス」 高温下でも着色良好 ジベ処理1回でOK

その結果、「BKシードレス」は「巨峰」より果皮色カラーチャート値が高く（黒色が濃い）、糖度が高く、酸含量が少

日後にGA2500ppmより果皮色、糖度が優れていることが分かりました。

以上ことから、「BKシードレス」の導入によって高品質な果実生産が可能となり、さらにGA処理は1回でよく、省力化と薬剤費の削減につながります。

「BKシードレス」と「巨峰」の果実品質

品種	GA処理回数	果皮色カラーチャート値	糖度 (Brix%)	酸含量 (%)
BKシードレス	1回	10.0	22.7	0.55
	2回	9.6	21.9	0.56
巨峰	1回	8.0	18.6	0.65

（長崎県農林技術開発センター 果樹・茶研究部門ピフ・落葉果樹研究室専門研究員・古賀敬一）